

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

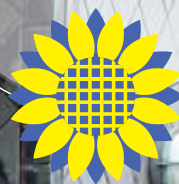


与謝野 議会だより

第63号

2022年

2月10日発行



主な記事

◎補正予算・・・・・・・・ 3P

◎議会懇談会回答一覧・・・ 11P

◎一般質問・・・・・・・・ 17P

令和4年成人式

《題字》宮津天橋高等学校・加悦谷学舎／書道部 細見ひなさん

全困窮業者に支援を

— 補正予算修正案可決 —

新年あいさつ



与謝野町議会議長
多田 正成

年頭に当り一言ご挨拶を申し上げます。

住民の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様にはご家族、ご友人と共に健康やかに新年をお迎えの事と心よりお喜び申し上げます。平素は当議会、各議員に対しまして深いご理解とご協力、ご支援を賜り議事を代表し心より厚く御礼申し上げます。

さて皆様と共に新年を迎えましたが、本年も新たなオミクロン株という変異株が拡散しており、予断を許さない状況にあり、まだまだコロナの収束には至りません。

昨年、当町では感染防止のためにワクチン接種に取組むなど、住民の皆様のご理解と積極的なご協力により12歳以上の接種率は約90%まで進める事ができました。本年も2月から3回目の接種が予定されており、個人の判断になりますが、接種についてご検討いただきたいと思います。

京都府の西脇知事もコロナ対策を積極的に取組んで頂いており、医療・療養体制など先進的な取り組みとして入院医療コントロールセンターによる一元管理の設置、自宅療養中の見守り体制、妊産婦への支援としてPCR検査が全額公費で受けられるなど、様々な事業に取組んで頂いております。本年こそはコロナを収束させ、新たな社会の構築を目指し地域経済、社会活動を取り戻し、明るい平穏な社会にするために、住民の皆様と共に努力してまいります。

新年早々不安定な状況ですが、本年4月には町長、議

員の改選期を迎えます。町長も2期目最後の仕上げの3カ月であります。若き行動力溢れる町長であるご期待するところがありますが、これだけは何としても申し上げておかなければなりません。それは、財政の建て直しと公共施設統廃合であります。私達の町は合併しましたが、現状では旧3町のままと維持管理している状態です。合併当時から5,000人が人口減少しており、今後も益々減少していきます。当然このままの財政状況では施設の維持管理だけでも財政は持ちません。これから先、施設の老朽化が益々進んでいきます。また、当町に思わぬ惨事や非常事態が起きた時に独自の対策が取れない状況になりかねません。財政余力の持てる行政運営が最も重要だと考えており、財政をしつかりと見据えて頂きたいと願っています。

私達議員も4月の選挙で新たな議会構成になると思いますが、議員は二元代表制の一員として住民自治をしっかりと司る使命と自覚を持たなければなりません。そういった意味からも、大所高所から物事の考えられる議員の人材が最も重要であり、それに加え議会、議員の資質や考え、政治姿勢も重要かと思えます。次の選挙では住民の皆様にもしっかりと見極めて頂いた上で、ご支援、ご協力を賜ります様、お願いする次第であります。

結びになりましたが、平成から令和に入り新たな社会環境の変化により我が国の経済は確かに前進しており、努力の報われる明るい社会の始まりと言われています。WITHTHコロナ・POSTコロナに向け更に社会環境を変えるべく試練の年となっておりますが、本年は「寅」（とら）年です。「寅」は木の枝や芽を伸ばし成長させる」という意味を持つ干支であります。私達も干支にちなみ、地域経済、社会活動を活性化させ成長させなければなりません。春が来て草木が伸び始めるように、本年が町民・住民の皆様にとつて心豊かで災害の無い輝かしい一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

12月議会のようす

12月定例会は2日から20日までの18日間で開催された。条例の一部改正や指定管理者の指定、補正予算等、追加議案も含め都合19件の議案を審査した。主な内容は、町施設の指定管理者の指定について、冷凍米飯施設の無償譲渡、補正予算第4号、追加議案として補正予算第5号が上程された。国による18歳以下への10万円給付を当町では現金10万円給付にする提案がされた。一般質問では14名が、町政の検証等を各議員の提案を含め議論された。

本会議で特に質疑が多かったのは、指定管理者の指定についてであり、審査の結果や現状との違い等、町管理施設を今後どのように運営していくのか等の質問があった。また、補正予算第4号では、新型コロナウイルス対策事業として、町内飲食店元気回復応援事業へ質疑が集中した。結果、補正予算第4号は、修正案が上程され可決された。

一般会計補正予算第4号

内容説明

補正予算第4号は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億3,507万円を追加し、総額を126億5,641万4千円とする補正予算が提案された。主な内容は、障害者生活支援事業として身体障害者補装具給付費や自立支援給付費、障害児通所・相談支援給付費等の増額6,015万9千円、認定こども園管理運営事業として会計年度任用職員報酬等の増額1,178万6千円、認可外保育所支援事業として保育所等整備事業補助金の増額1,003万2千円、新型コロナウイルス対策事業として子育て世帯臨時特別給付金、飲食店元気回復応援事業等の追加に伴う増額1億6,432万7千円等が計上された。特に飲食店元気回復応援事業に多くの議員が質疑を行い、修正案が提案され、賛成多数で修正案が可決された。



飲食店に固執の理由は

高岡伸明

問 今年6月も補助したのが飲食店であったと記憶している。なぜ飲食店が対象なのか。

商工課長 年末年始の流れの中で少ない財源、まずは飲食店の対応をしていこうということになった。

問 補助金は、幅広く町民にいきたるようになるべきではないか。

商工課長 コロナ禍の中で事業者に対しては様々なかたちで支援はする。飲食店にするのは、商工会のアンケートの中で、客の戻りが、まだまだということからだ。



今夏配布された商品券

財政健全化はデジタル化

今井浩介

問 加悦庁舎の印刷費40万円が補正されているが、コロナ禍でリアルな会議が減っている中で、なぜ印刷費が増加するのか。行政のデジタル化の動きは進んでいるのか。

企財課長 行政としてもデジタル化の方策の一つとしてペーパーレス化を進めていくべきと考えているが、なかなか一足飛びに改善に繋がっていない。

問 デジタル化を進めることで無駄なお金を使わないようにすることが財政健全化の一つである。**企財課長** おっしゃる通り。一步一步進めていき

立案の考えがずれている 3団体からの要望書は、飲食店と宿泊業者の売上規模が相当な差がある。とあり、この部分が

一番の趣旨である。つまり宿泊業者の支援をお願いする要望書なので、そもそも立案に至った考え方がずれている。観光業は支援が全く無い中で売上も90%以上減になっている。その上でなぜ今、飲食店をさらに支援する考えに至ったのか。**町長** 観光補助事業の実施、町内宿泊利用者への割引クーポンの実施、また前回の飲食店応援クーポンの実施とある。町内の方であれば安心安全が担保できると考える。飲食店のみならず取引業者等への裾野を広げることができると考える。



認証店ステッカー

理解しがたい提案

家城 功

問 経済対策の中で、なぜ今飲食店だけに限定した支援策なのか。

町長 今なお顧客回復や景気回復が困難な業種は飲食業であるから。

商工課長 町内の閉塞感を打開したいから。

問 顧客回復に苦しむ業者は飲食店だけではない。また、町内飲食店約90店舗中、京都府認証飲食店だけの対象であるが、対象店は35件だけなのもおかしい。

商工課長 この事業で認証店を増やしたい。また他の業種に対しては次の補助制度で対応したい。**問** 全ての町民からの理解を得ることは難しいが多数の方が納得のいく予算執行が必要である。**町長** これでやりたい。

米価下落への支援を

永島洋視

問 今年のJA米買入価格はコロナの影響により、コシヒカリ1等30kgが5,280円と1,450円

22%も下がった。経営が成り立たないという農家も、農地の荒廃が懸念される。府や府下6市町で支援を実施する。与謝野町も支援を制度化するべき。

町長 国の経済対策で支援する。1月中旬〜下旬に

は示せるだろう。**問** 福祉灯油こそ急がれるきびしい正月となる。全国では、灯油配布や購入補助をする県や自治体が増えている。住民税非課税世帯への支援が急がれる、与謝野町も実施する。**町長** 現在庁舎内で、制度設計をしている段階である。



農家に救いの手を

現状把握した補助金を

和田裕之

問 コロナ禍関連で倒産している、全国中小企業の統計・状況・詳細等が報道されているが、担当課としては理解・把握されているか確認する。

商工課長 倒産件数は把握していない。

問 全国的な状況も踏まえて、どういった業種がどのよう状況になって

いるのかしっかりと把握をし、本当に必要な業種を一番先に対策、手当てをすべきである。飲食店への府の協力金とデリバリー・テイクアウト等の企業努力で赤字を出している企業もあるが、どう理解しているか。

商工課長 協力は理解しているが、手元にまだ届いていない所もある。

問 国の月次支援金のよ

三、所管委員会でも指摘しているがどうか。**商工課長** そういった制度を作るには、大規模な予算設計がいる。そういった流れの中で、1月以降の補正予算の中で、対応していく段階に、今あるということでご理解いただきたい。**問** 今回の飲食店補助では2,350万円の予算計上である。仮に5万円の補助で1千事業者の補助申請があったとしても5千万円の予算だ。やる気があるなら、すぐできるものではないか。(議員提言)

企業立地推進

渡邊貫治

問 企業立地推進事業780万円減額となっていてるが何故か。

商工課長 企業側の都合

で今年度の申請に間に合わなかった。来年度に申請があると思われる。



多くの企業立地を

賛成討論

今井 浩介（よさの21クラブ）

「観光業、特に宿泊業への要望書」

要望書の趣旨は、飲食店と宿泊施設の売上規模は相当な差がある。よって、与謝野町独自の観光関連事業者に対する協力金・支援金の交付をお願いしたいとある。主に観光業、特に宿泊業に対する支援を求められている要望書。現在でも経営が厳しい店舗も町内にあるかもしれないが、国や京都府の協力金があった飲食店にさらに支援する考えや、事業立案に至った背景が理解できない。本当に困っている方や業種をしっかりと調査し、最大の効果が出る誰もが納得できる事業を望む。

12月議会 発言回数一覧

議員名	発言者数	高岡 申明	永島 洋視	杉上 忠義	山崎 良磨	下村 隆夫	安達 種雄	今井 浩介	山崎 政史	和田 裕之	河邊新太郎	浪江 秀明	渡邊 貫治	家城 功	宮崎 有平	多田 正成
大豆・米乾燥調整施設の指定管理者の指定について	2													2		-
旧加悦鉄道加悦駅舎の指定管理者の指定について	5			1	1			1						2		-
旧尾藤家住宅の指定管理者の指定について	2			1		1										-
かや山の家指定管理者の指定について	2		1				1									-
財産の無償譲渡について	6		1	2	1	1						1				-
令和3年度一般会計補正予算(第4号)	12	1	2	1	1		1	2		1			1	2		-
令和3年度一般会計補正予算(第5号)	6		1	1	1			1		1				1		-

12月議会 賛否一覧

賛否の分かれた議案のみ掲載

○印は賛成 ×印は反対 (議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の賛否を決定します)

議員名	賛成	反対	高岡 申明	永島 洋視	杉上 忠義	山崎 良磨	下村 隆夫	安達 種雄	今井 浩介	山崎 政史	和田 裕之	河邊新太郎	浪江 秀明	渡邊 貫治	家城 功	宮崎 有平	多田 正成
令和3年度一般会計補正予算(第4号)に対する修正案	11	3	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	-

11月臨時議会

令和3年12月に加悦地域で開園する、つばきこども園を制定するための条例改正が主な内容である。議員からは工事契約の変更について、また12月開園としたことについての質疑があった。全2議案が全会一致での可決となった。



一般会計補正予算第4号に対する修正案

提出者

家城 功（よさの21クラブ）

補正予算内の飲食店元気回復応援補助金、いわゆる飲食店用のクーポン事業にかかる2,300万円を一旦、予備費にまわす案である。再度用途に関して、考えてほしいという思いからである。飲食店を応援することに異議はないが、他業種や町民にも困っている方はおられる。その方達のこととも考え、より多くの方の助けとなる予算案を作成してもらいたい。

賛成討論

高岡 申明（日本共産党与謝野町議員団）

「困っている人に支援を」

クーポン券1万円を5千円で4千人分販売する事業だ。年金生活で外食などできないという人には意味が無く、金銭に余裕のある人が得をする制度だ。困っている人にこそ支援をしてほしいという声が寄せられている。緊急小口資金の資料では、飲食店だけが厳しいということにはなっていない。党議員団は、飲食店への支援を否定するものではないが、コロナ禍で影響を受けた他の業種への支援も含めて事業を見直すべきであるという点で、修正案に賛成するものだ。

賛成討論

山崎 良磨

「不平等のないような施策を」

コロナ禍における売り上げ減少は、飲食店に限らず大半の業種に及んでいると、考えられる。この補助金事業においては、一部の町民と事業者しか恩恵に預かれず、不平等を感じるものである。飲食店内も包したより多くの事業者、町民が恩恵に預かれる方向に練り直すべきではないかと提言し、修正案に賛成するものとする。

指定管理者の指定について

町の施設を運営管理する指定管理者を選定する議案7件が提案され、そのすべてが全員賛成で承認された。

- ① SLの保存と活用目的について、町の考え方を問いたただすもの
- ② 経費縮減につながる運用を求めるもの
- ③ 観光への有効な活用
- ④ 今年度から黒字になった場合、一部を町に還元するという運用についての疑義
- ⑤ 経営努力が反映される指定管理料への見直し等であった。(施設ごとの議案と指定管理者一覧表を参照)

施設名	指定管理者
大豆・米乾燥調製施設	株式会社 与謝ファーム
生産物特産加工販売施設(ちんざん)	有限会社 明人夢村
大内峠一字観公園	大内峠一字観公園有限責任事業組合
旧加悦鉄道加悦駅舎	特定非営利活動法人 加悦鐵道保存会
旧尾藤家住宅	ちりめん街道を守り育てる会
かや山の家	株式会社 かや山の家運営委員会
加悦椿文化資料館	有限会社 明人夢村

指定管理者考えの転換を

家城 功

町長 指定管理は、財政圧迫の原因の一つ。今後に向けた考え方の転換をすべき。どういった基準で審査をし、どういった協議が今回なされたのか。

副町長 条例に基づき、直営か指定管理かどちらが効率的かを中心に協議し審査をした。

町長 効率的な施設運営が重要であるが、時代や施設の考え方の変化な

どを鑑み、様々な工夫をしながら尽力をしていく。**町長** 指定管理者の運営状況をしっかりとチェックして、経費縮減につながる運用の強化を。

副町長 提案に答えられるよう、チェックを強化し、今後取り組む約束をする。



指定管理で施設運営



実際の駅舎

旧加悦駅舎指定管理者

杉上忠義

町長 旧加悦鉄道に関する資料を収集保存し、それを活用することにより、地域文化の向上、観光振興を目的とする。加悦SL広場が閉園となつたことから、SL広場にある備品・資料・展示品を加悦鉄道資料館(旧加悦鉄道加悦駅舎)で保存・展示活用することになった。そのため町は支援する必要があるが、NPO法人加悦鐵道保存会

は、業務内容の文化財の特殊性をよく理解し、管理運営していく努力をされている。観光・文化面での発信力も期待できるが町の考えを問う。**副町長** 保存・展示方法の工夫の必要性はわかるが、特別な支援は考えていない。駅舎の維持管理、加悦鉄道資料の文化的価値の重要性は十分理解していただいている。鉄道を活かしたまちづくり・観光事業を期待している。

民営化へのプロセス

山崎良磨

町長 端的に尋ねると、民営化されるプロセスの一環で無償譲渡されるのか。額面割れは避けてほしいと考えるが。

農林課長 その通りである。先方からも、打診がとにならないように、話を進めたい。

町長 町が所有する株式の額面が大きいので、売却

.....

町財産の無償譲渡は慎重に

杉上忠義

町長 冷凍米飯加工施設は、「指定管理者」による運営も好調。今後は町財産売却等により、民間主導の施設にしていくとあるが、町民が納得する説明と情報公開が必要である。土地・建物・設備の譲渡を受け、会社資産を増大させ資金調達をするのは

財産の無償譲渡について

平成11年、旧加悦町のときにチルド米飯・冷凍米飯製造、米販売の事業を第三セクターとして株式会社ファーマーズライスを資本金6,100万円(内与謝野町出資4,000万円)で設立した。今回の財産の無償譲渡については、設立当初の土地、建物、備品類(棚・ロッカー類、光学機器、厨房器具類、車両運搬類、建物附属設備類)等を無償譲渡する議案であり、全員賛成で可決された。



(株)ファーマーズライス

町外部への観光PRは

安達種雄

町長 議案117号から120号まで町の施設の指定管理だが、当町の重要観光施設への誘客について、町外に向けたPRがほとんどできていない。ファーマーズライスにおいては高速道路サービスエリアなどで幅広く展開されているが、山の家など、併せて町全体の観光PRをどの様に考えているのか。

農林課長 全体のPR、指定管理も含めて観光施設の町外への情報発信等について、近日複業人材のアドバイザーの任命を

行う。広報、広聴に関し職員だけでなく民間の活力を取り入れ、幅広い考え方で戦略を策定したい。

町長 観光PRは「海の京都DMO」と連携して行っている。府内の主要な所でパンフレットを配置し、デジタル化として、インターネット配信している。ただ、紙媒体は枚数が限られるので、パンフレットが目につかないとの意見も聞いているが、来町されたお客様には渡している。

議会懇談会・投書箱・町から 回答一覧

与謝野町

昨年度は中止としました議会懇談会は、今年度無事に開催することができました。懇談会でいただいた議会と行政に対する質問や要望について、回答を掲載します。
併せて岩滝・野田川・加悦の庁舎に設置した投書箱へいただいた意見、質問について回答します。

議会懇談会

- Q** 公共施設の問題で、第三者委員会の答申に議会も従う認識が良いか。実施計画の無い計画で議会のチェック機能が働いていないのではないか。
- A** 答申を尊重する。
- Q** 第三者委員会の答申で、行政は白紙に戻したのか。町民は白紙撤回ととらえて良いのか。
- A** はい。白紙と考えていただいたら良いです。
- Q** 町は予算化して第三者委員会を設置した。行政からきちんと説明が無い。議会としてチェックする必要があるのではないか。
- A** 議会として、十分検討してチェックした。
- Q** 第三者委員会の報告があったとき、議会ではどのような議論がされたのか。
- A** 議案の審議にかかわるような提案は、町からなかった。報告があったのみで、今後は広く町民の意見を聞く地域デザイン会議を開催する。議会としてはその辺を見極めている段階。
- Q** 地域デザイン会議と社会教育施設及び就学前教育保育施設のあり方。これとの関係は。
- A** 地域デザイン会議は、あくまで町全体の公共施設のあり方を町民の皆様にも広く議論していただく場である。認定こども園のことだけを議論するのではない。与謝野町全体の公共施設の今後について、管理運営も含めてあり方を検討すると聞いている。
- Q** 地域デザイン会議の次の委員会とはどのような委員会なのか。
- A** 第三者委員会で設置を求められた委員会で、財政の専門家も入れた委員会を立ち上げるとされている。来年の1月設置予定。
- Q** 地域デザイン会議の中の委員会で検討するのか。
- A** この会議では、具体的な結論は求めている。意見を集約して次の有識者の入った会議で検討していく。
- Q** 地域デザイン会議も予算化されている。議会のチェックが必要ではないか。
- A** 与謝野町の全ての公共施設のあり方を検討していくと聞いている。予算のチェックはしている。議会でも質疑され審議されている。
- Q** PCR検査について、与謝野町独自で検査してもらいたい。ワクチン接種と並行して、誰でも、いつでも、どこでも、何度でも無料で検査が出来る体制を作るよう国、京都府に要望してほしい。
- A** 国・府・町への要望を訴えていく。
- Q** 与謝野町のワクチン接種はどの年齢まで進んでいるのか。
- A** ワクチン接種は、順調に進んでいる。現在は12歳までの接種となっている。高齢者については、ほぼ2回目の接種が完了している。
- Q** コロナワクチンについて、65歳以上はほとんどが接種している。若者の接種率が低いので啓発をすべき。
- A** 接種については、町も頑張って呼び掛けているが、アレルギーのある方、小さい子どもについてトラブルを懸念されて接種されない方もある。ご理解いただきたい。
- Q** お盆後多数の感染者が出たが、検査キットの配布とは関係ないと思うが、議会としての意見を聞かせてほしい。
- A** お盆明けに感染者が増えたのは事実。検査キットの最終的な考えについては、議会としての統一的な見解はない。各議員が議会では質問している。
- Q** 京都府内の業者がインターネットで未承認の検査キットを販売して逮捕された。町が購入した商品と同じと聞いている。逮捕された業者と町の仕入れ先は関係があるのか。
- A** 商品としては違う物と認識している。町の購入先は、一般的な薬剤卸売業者から購入している。
- Q** 検査キットを町民が受け取り、町民以外の人を使う。町民以外の人になぜ税金を使うのか。町税を使う妥当性があるのか疑問を感じる。
- A** 町の説明では、町民でない人が町に帰ってきてコロナ感染が広がれば町民にも影響が出る。それを少しでも抑えるために配布したと聞いている。
- Q** 使われていない残りの検査キットはどうなっているのか。
- A** 未使用の検査キットは、こども園等で感染者が出た場合に、町職員(保育士等)のセルフチェックのため使用すると聞いている。具体的な確認は今後になる。
- Q** 未承認の新型コロナウイルス検査キットが目的外使用であるならば、補助金の使用に誤りがあったとなるのか。
- A** 目的外使用であるならば、補助金の返還も想定される。予算の流用で検査キットを購入しているので、議会がチェックできなかった。
- Q** 未承認の新型コロナウイルス検査キットの購入は、公金の不当な支出に当たるのではないかとと思うがどのような考えか。住民監査請求の対象となるのか。
- A** 住民監査請求は、ご自身でお考え頂きたい。議会からは控えさせていただく。



130人を雇用するファーマーズ

町支援は卒業と「いっしょに」

永島洋視

問 冷凍米飯加工施設を会社に無償譲渡する議案。町設立時から将来は民間に移行する計画。今回の譲渡は、町がこれ以上財政支援しないということか。

農林課長 そのとおり。

問 今回の譲渡で、町の損失は一切ないのか。

農林課長 一切ない。

問 会社は130人を雇

用し、米も高額で農家から直接購入している。町出資企業だからこそ、町に貢献している。当面は3セクを維持してほしい。

副町長 雇用と米消費という2つの目的があり、それを守る必要がある。完全民営化は慎重な対応が必要。

賛成討論

家城 功 (よさの21クラブ)

「高評価できる決断」

子育て世代への臨時給付金については、国の方針が二転三転する中で、行政においても、対応がなかなか判断しにくい状況下において、一括現金支給で10万円を対象者に給付されるものであり、今回の判断と決断は、高評価に値すると感じている。この給付金については、色々な考えや意見があると理解しているが、子育て世代の方や未来を担う子どもたちにとって、有効に意味のある使われ方がされ、ひいては地域経済の活性化につながることを大いに期待する。

一般会計補正予算(第5号)は、歳入歳出予算の総額に、1億4,699万1千円を追加し、令和3年度の歳入歳出の総額を、128億3,400万5千円とする。

追加補正の主なものは、新型コロナウイルス対策事業における(子育て世帯臨時特別給付金)1億4,200万円などであった。全員賛成で可決した。

一般会計補正予算第5号

— お詫びと訂正 —

- 去る11月に発行しました62号の決算特集ページにおきまして、水道事業会計の項目を掲載しておりませんでしたので以下に記載させていただきます。
誠に申し訳ございませんでした。
- 62号の表紙におきまして、被写体のお子様とファイル穴が重なり身体の一部に穴が開いた状態で発行してしまいました。今後はこのようなことのないように入念なチェックを行います。
誠に申し訳ございませんでした。

■水道事業会計

項目	収入	支出
収益的収支	8億1,679万円	7億6,994万円
資本的収支	1億6,156万円	4億1,012万円

- Q** 財政がどんどん悪化している。令和2年度決算では、どこが悪くなったのか。
- A** 学校・保育所の解体、認定こども園の建設の事業費が膨れ上がった。それとコロナ関連の緊急支援金が国から交付され、それに対しての歳出が膨れ上がったことが主な原因。
- Q** 財政が非常に厳しいことはよくわかる。町民全体に対する公平な収入が得られているのか。滞納繰越分は徴収されているのか。
- A** 平等な徴収をするために、税では京都府地方税機構ができ、延滞の納付を依頼したり、納付相談を受けたり滞納が減っていく取り組みをしている。公平な負担というのは、どこまで行っても求めていかなければならない。
- Q** 3町合併、小学校統廃合について、議会として良い点、悪い点の検証をすべきではないか。答弁はよろしいです。
- A** ご意見として伺っております。
- Q** 下水道のマンホールの蓋の段差で音がすごい。区から要望してもらっているが、直らない。町からは9月か10月には直すと言っている。
- A** 早急に対応します。
- Q** 荒廃土地がたくさんある。議会や町はどう考えているのか。有害鳥獣被害があり耕作にモチベーションが保てない。
- A** この問題については、町も取り組んでいる。国の制度で奨励金もある。公的な支援ができるような仕組みづくりが必要と考える。
- Q** 椿育苗資料館は、年間17万円程赤字になる。頑張っている指定管理者には繋ぎ資金を出してほしい。
- A** 今の指定管理は経営努力が反映されない、赤字補填にしかっていないと議会で指摘している。農林課にも相談してほしい。
- Q** DVになかなか気づけない。救いの手が差し伸べられていない。実態調査をしたりして、女性や子供が安心して暮らせるような取り組みを。
- A** 電話番号189（いちはやく）で町の担当者につながる取り組みを行っている。児童相談所とも連携し対応している。
- Q** コロナでの閉じこもりで痴ほうが進んだ。家庭内で自然死が多く出ているとか話もある。大変気にしている。
- A** コロナ禍において、どんな支援が必要なのか、行政と一緒に考えていきたい。
- Q** S L広場のブルーシートを何とかできないか。
- A** 今年度中には、旧加悦駅舎に3車両の車庫が出来る。一定整理できると思う。
- Q** 宮津与謝クリーンセンター、クアハウス岩滝と2つの大きな事業について、きちっと検証・確認を議会で予算の枠のなかでしか議論できていない。将来を見据えた議論、現状を踏まえた議論を町民は求めている。
- A** ご意見として承ります。

投 書 箱

- Q** 住民と議会に距離感を感じる。議会の傍聴以外に、議会に触れる機会は有線テレビしかない。未加入世帯もある中、youtubeでの配信はできないのか。
- A** 以前は、インターネットを活用しライブ配信を行っておりましたが、カメラやその他の機器の故障により、現在は行っておりません。再度整備したり、有線テレビの映像をyoutubeへの対応をしようとすると経費がかかることから考えておりません。議会の傍聴・議会懇談会への参加や投書箱へご意見等をお願いします。

町 からの 回 答

- Q** 海岸道路の照明について、照明の増設、日没から夜明けまで、照明の点灯をお願いしたい。
- A** 海岸道路は、京都府の管理となります。点灯時間については、以前、京都府へ要望いたしまして、午後5時から午前0時までと午前5時30分から点灯するように対応いただいた経緯もあります。重ねて要望をされる場合は、京都府が府民からの提案を受け付ける「府民協働インフラ保全事業の提案」が毎年春にありますので、そちらをご活用ください。
- Q** サイクリングロードに熊やマムシが出て危険である。駆除をお願いしたい。
- A** ▶クマ対応について
近年ツキノワグマの生息数が増加しており、サイクリングロードに限らず住宅地内でも目撃や糞の確認がされております。京都府知事より許可を得て捕獲を行っていますが、突然遭遇することもありますので以下の出会わないための行動をとっていただくようお願いします。
・クマが活発に行動する朝夕の時間帯は特に注意する
・霧や風の日、川の近くでは注意する
・突然クマと出会わないよう自分の存在を知らせる等
- ▶マムシの対応について
広いサイクリングロードでマムシを駆除することは難しいと考えます。サイクリングロードは京都府の管理である他、町がマムシの駆除を行うことはありません。毎年、サイクリングロードの草刈りを行うことで、蛇などの潜む場所を減らし、予防対策になっていると思われまます。
- Q** 加悦地域の野田川河川敷に木が生えている。災害が起きないように整備して頂きたい。
- A** 野田川の樹木伐採、浚渫については、各方面から京都府へ要望を行っております。ここ数年は、岩滝橋から弓の木橋や堂谷橋周辺を中心に多くの箇所浚渫を実施いただいておりますが、まだまだ十分とは言えない状況です。今後も、引き続き要望を行っていきたくと考えております。
- Q** 高齢者の生活に必要な移動手段が不便なので、対策をして頂きたい。
- A** 近年高齢者で運転免許証自主返納をされる方が増えてきています。当然ながらそれらも要因となり、高齢者を含む移動手段の確保が大きな課題となっています。本町では、幹線（丹海バス路線）へ繋ぐ移動手段として、コミュニティバスひまわりを運行し、限られた中での移動手段確保に努めています。しかしながら、便数の制限など課題もあることから、これらに代わる移動手段を検討する必要がありますが、令和4年2月に実証実験として「予約型乗合タクシー」を30日間運行し、その効果等について検証することとしています。

- Q** 子どもたちが帰宅時にマスクをしているのを見るのがつらい。接触がダメなら少しでも間隔を開けてマスクを外し健全な生活ができる環境を提案したい。議会の中でこんな提案があれば町の中の気分が変わる。
- A** ご意見の一つとして伺っております。
- Q** クアハウス岩滝あり方検討委員会は、クアハウス岩滝の状況を理解していたのか。ボイラー、排水が直っていない。オープン直後から休業したが、誰が責任を取るのか。トレーニングマシンの数も多すぎる。議員は隔々まで見るべき。
- A** クアハウス岩滝の予算については、議論を交わし審議した結果である。
- Q** 議員の観光の考え方は。
- A** 物見遊山より体験型の観光。食事や観光施設間の移動手手段の確保が課題。
- Q** クアハウス岩滝の改修に5億円の費用がかかっている。きちんと検討されたのか。工事の議論をどこまでされたのか。
- A** 最終的に5.3億円となり驚いている。次々に予算要求がありどこまで予算が上がるのかと感じている。スタートした以上はやっていかなければならない。
- Q** クアハウス岩滝のヘアキャッチャーのことはどんな問題なのか。
- A** ヘアキャッチャーの清掃について、京都府の規則が15年前から変更となっており、毎日清掃しなければならない。町も指定管理者もこのことを認識しておらず、1週間に1回しか清掃をしていなかった。また、毎日清掃をすることにより指定管理料の増額の予算提案があった。
- Q** 9月定例会で、町民が一番知りたいコロナの抗原検査キットの質問がなぜ止められたのか。
- A** 令和2年度決算認定での抗原検査キットの質問だった。抗原検査キット購入は、令和3年度事業のため議案に沿わないため。
- Q** 議会選出の監査委員が決算認定で反対をされている。これはどうしても理解できない。
- A** 決算審査意見書で、「コンプライアンス上、重大な問題があったことを指摘する。」と指摘がされている。監査委員は、町の予算が適切に執行されたか審査を行っている。執行された予算が町民の利益にかなった町政運営であったかどうかを判断したときに、全国的にも事例があるようだが議員個人の政治姿勢として違う立場を取った。議会選出ではあるが、議員と監査委員は独立した機関であることをご理解いただきたい。
- Q** 決算認定で、反対者が多い。どのような観点で審査を行ったのか。どのような異議があったのか。
- A** 予算の目的に沿った事業であったかのチェック。数字的な財政状況やその確認。審議をした結果、反対討論も含め、今後どう活かしていくか、それが議会の役目だと思う。
- Q** 決算は、予算執行の結果を示す成果報告書だと思う。行政効果の客観的な判断、今後の改善や反省の事項、これらを把握して活用していくことが重要であり、結果を町の財政運営、一層の健全化、適正化に役立てる。将来に向けての前向きな考え方が重要だと思う。そのような観点で協議をお願いしたい。
- A** おっしゃるとおりだと思うが、議員それぞれの考え方で判断されているので、大変難しい問題である。
- Q** 与謝クリーンセンター、クアハウス岩滝の問題。なぜこんなことが起こるのか。事前の計画性や確認、そのようなことがどうだったのか、おろそかだったのではないかと。どういったことが一番必要なのか。予算にとらわれず、もっと本質的なところを議論してほしい。
- A** 議会においては、予算だけにとらわれず、多方面から質疑・追及や提案を行っております。
- Q** 決算認定において、筋の無い反対、整合性の無い反対をされる状態が正常だと思わない。他の議員は黙って見ているのか。それで良いか。
- A** 議員の政治姿勢として反対された。法的に議会が問題にすることができない状況。ご理解いただきたい。
- Q** 議会中に広報特別委員会の議員が、顔写真を撮影されている。毎回撮らなくて良い。離席をしたり、議長の裏から写真を撮ることは品位にかけられる。見直していただきたい。
- A** ご意見として伺っており、今後の課題とさせていただきます。
- Q** しっかりと情報収集を行い議論をしていただきたい。その途中経過でも議会だよりで、議員の写真をカットすれば解説文や中間報告、現状、その後の見通しを公にできる。
- A** ご意見として伺っております。しかしながら3ヶ月に1度の発行のため、最新の情報が掲載できない懸念があります。
- Q** 議員が1名欠員だが、支障は無かったのか。4月には議員の改選期、議員定数の見直しの動きはあるのか。
- A** 議員間討議で3回議論した。現状のまま、2名減、1名減と意見があったが、現状のままの意見が大勢であったので、次回の選挙は現状の16名で進めている。
- Q** サイクリングロードの街灯を全体に設置してほしい。
- A** 現在は、加悦高から加悦に向かって350m順次工事を行っている。来年度以降も延伸の予定。
- Q** 府道加悦但東線は、20年前に用地買収後工事がされていない。実行してほしい。
- A** 宮津養父線では期成同盟会を作り要望を行っている。地元でもそういう気運を高めていただきたい。我々も要望活動をさせてもらう。
- Q** 加悦奥川の改修も目途が立ち、住民で草引きをしている。ちりめん街道も地域が頑張っている。町の財政状況が悪い中、住民が頑張れば町も良くなるのでないか。
- A** 今後ともご協力をお願いします。
- Q** 一般的な町の収入と比較して職員の給料が高いのではないかと。
- A** 職員は法律で守られている。給与表で定められた給料が保障されている。なかなか解雇できない。公務員にも組合があるので交渉をしてラスパイレス指数100を基準として、94.6で給料が少ない団体である。
- Q** 今の職員給料の財源を、今の人員でシェアするのではなく、3倍の人員でシェアすれば一人あたりは相対的に落ちてくるし雇用も増える。地元の民間企業を参考に給料を考えるのが、地方自治体の根本だと思う。
- A** 現実的に難しい。
- Q** 一日一善を町職員がやれば町が相当良くなると思うが、出来ていると思うか。
- A** 町に伝えます。

委員会 事務組合報告

総務文教厚生常任委員会

報告者／杉上忠義

令和3年10月13日
子育て応援課

園の名称決定について
公募を行い、名称選考会を開催し「町立つばきこども園」に決定した。開園日については、アンケート調査結果報告があり、地盤沈下などによる困難な状況におかれているのがよくわかった。桑小跡地に出来るだけ早く新与謝の園を完成したいと取り組んでいる現状も聞いて、住み慣れた地域の高齢者施設での生活を望む人が多いことから高齢者が安心して暮らせる居場所づくりについて有意義な懇談ができた。

産業建設環境常任委員会

報告者／下村隆夫

令和3年10月13日
観光交流課

野菜搬入経路、トイレが内側からは入れない等の問題は、滝・金屋農業振興会に現状の運営について確認。今後の指定管理には道の駅として提案してもらえるところにする。クアハウスろ過機交換について予備費のうち180万円対応。

令和3年10月18日
住民環境課

●気候非常事態宣言について
10月20日、宮津市と町で気候非常事態宣言を行う。当町は平成30年8月に世界首長誓約に署名しており、2030年にCO2を26%削減する目標を掲げている。令和2年3月の施政方針の中で、2050年二酸化炭素排出実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）を目指す表明もした。脱炭素社会の構築と持続可能なまちづくりのためである。

●岩滝最終処分場について
シーケンサ機器の修繕を行う説明を受けた。

宮津与謝環境組合議会

報告者／家城 功

令和3年10月21日

定例会に先立ち、全員協議会が開催され、基準値を超えるダイオキシンについての現状説明があり、①原因究明と対策を早急に示すための試験運転を、10月14日から約40日間行う②12月8日には報告者の提出ができる体制で調整しているのとこととであった。再発防止に向けた対応と運営、町民の安全安心への周知と説明を強く求めた。

続いて、定例会が行われ令和2年度決算認定、令和3年度一般会計補正予算、一般質問、管理者に対する意見書が審議・質疑された。令和3年度の決算では、約17億円の歳入歳出で、歳入の約70%が各市町からの負担金。当町負担額は約6億1,400万円。支出の約66%が施設建設費で約11億円であった。補正予算では、令和2年度差額分約3,100万円を令和3年度負担額で減額するという内容でいずれの議案も可決された。一般質問では、当町の河邊議員が登壇し、直接搬入ごみの対応や考え方について質疑がなされた。最後にダイオキシン基準値超過事例に対する対応と対策について、管理者に対して意見書が提案され全員賛成で可決された。

今回は、ダイオキシン基準値超過に対する、今後の体制と運営について、また、議会懇談会で多くの方からお聞きした、直接搬入ごみの対応と考える、改善についての意見を多く訴えた。

- Q DV加害者更生プログラムの出来る人材の育成や取り組みを与謝野町でも実施していただきたい。
- A 非常に専門性が求められる分野でもあり、また与謝野町規模の町単独で取り組むことは難しく、近隣市町との広域での取り組みが必要と考えます。京都府、近隣市町と連携し、府北部での取り組みとして検討する他、京都府へ要望を行っていききたいと考えております。
- Q DV被害者が児童相談所に行くまでに至らないケースが多い。被害者の早期発見、早期の対応ができる体制を作っていただきたい。また児童相談所の増設もお願いしたい。
- A DVと児童虐待は密接に関連しており、子どもの見ている前で夫婦間で暴力を振るう「面前DV」は子どもへの心理的虐待に当たることから、町要保護児童対策協議会においてケース会議や実務者会議などでの情報共有と対応検討を行い、関係機関との連携により、早期発見、早期対応に努めているところです。また、将来的にDVにつながらないよう、若い世代に対しカップル間で起こるデートDVについての啓発、学習の機会を取り入れることも検討しております。京都北部地域への児童相談所（家庭支援センター）の増設については、今後も引き続き京都府に対し要望を行っていききたいと考えております。
- Q 基礎疾患のある方の新型コロナワクチン接種について、他の自治体では、自己申告しなくても身体障害者手帳や自立支援医療受給者証の台帳と紐づけし、接種券を配布されたところがある。なぜ、与謝野町では紐づけしなかったのか。
- A 1・2回目の新型コロナワクチン接種につきましては、国が確保するワクチンの量に限りがありワクチンの供給が順次行われたことから、国が示す接種順位を踏まえ、65歳以上の高齢者からワクチン接種を開始し、ワクチンの供給量を勘案しながら、基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従事者などと順次接種を行い、以後については、対象年齢を引下げワクチン接種を実施してきたところです。優先接種の対象となる「基礎疾患を有する者」の対象者につきましては、65歳未満の内、慢性の呼吸器の病気や心臓病（高血圧を含む）、腎臓病、肝臓病など14種類の疾病や疾患、そして肥満の方が該当することとなります。身体障害者手帳や自立支援医療受給者証を保有されている方々以外の方も「基礎疾患を有する者」として優先接種の対象となることから、与謝野町接種券の送付に際しては、身体障害者手帳等の台帳との紐づけを行わず、新聞折込や文字放送やホームページにより広く周知を行い、「優先接種に該当する疾患や疾病等をお示しし、ワクチン接種を早期に希望される方」について、接種券送付の申請をしていただくよう、お願いしてきたところです。
- Q 新型コロナウイルス検査キットの配布に対し、時間的余裕がなかったとはいえ、国、京都府に相談をし、町、担当部局、議会等が情報を共有し、町民に対する十分な説明をすることが、必要でなかったのかと思うがいかがか。
- A 今後は、このような事業を計画するにあたっては、まずは京都府に相談をして見解を伺った上で検討を進める他、実施に当たっては議会にも情報共有する等手順を踏んで事業化していきたいと考えています。
- Q 新型コロナウイルス検査キットの配布は、お盆もすぎ、夏休みも終わり一定の要件を終えたので終了する。府の指導で中止するとあったが、これらの対応に問題はなかったのか。またこの指導とは関与のことか。
- A 想定していた主たる期間・お盆休み・夏休みの対応を終えたこと、住民の間で不安が広がったことを踏まえて終了したものです。京都府の指導を受けた時点では、今後も配布を続けられるかどうかは与謝野町の判断にお任せするとのことでありましたので、医薬品医療機器法違反にはならないこと、町として帰省を奨励しているものではないこと、保健所の指導によるより詳しい説明書を配布すること等を考慮し、その時点では配布を継続することといたしましたので、京都府の指導で中止したものではありません。配布を終了した対応については、問題はなく適切な判断であったと考えております。京都府の指導は、あくまでも指導であると認識しています。
- Q 新型コロナウイルス検査キットは、セルフチェックで問題ない、法律に違反していないとあるが、道義的責任はないのか。
- A 令和3年8月22日に「抗原検査キット配布事業に係る経過」を、令和3年8月25日には「抗原検査キット配布事業の終了について」を町ホームページに掲載し丁寧な説明を行っておりますので、道義的責任は果たしているものと考えております。

クリーンセンターからの回答

- Q 宮津与謝クリーンセンターの再稼働について、具体的な日程を教えてください。
- A 2度目のダイオキシン発生により停止中。確実な情報が出ていないが、現在ダイオキシン濃度を検査中で、試運転の予定となっている。現場視察に行くので、後日報告できると思う。※10月14日から試験運転の実施を確認済み。
- Q 直接搬入ごみについて、代行で持ち込んだ場合、業者と疑われ時間がかかる。また家族が車に同乗していても同様である。もっとスムーズな対応をお願いしたい。
- A 業としてごみを代行搬入することは違法です。したがって、繰り返し搬入されている方については、ご本人のごみかどうか、確認させていただく場合がありますので、ご理解ご協力をお願いします。なお、ご家族が同乗されている場合、ご家族の名前で申請されていれば、スムーズに対応しております。
- Q 直接搬入ごみについて、一般ごみと事業系ごみの取扱いが曖昧ではないか。漁業関係者の発泡スチロールは受け入れてもらえるが、電気店の発泡スチロールは受け入れてもらえない。受け入れてもらえるように是正をお願いしたい。
- A クリーンセンターは一般廃棄物処理施設であり、事業者が事業活動に伴って排出するごみの内、産業廃棄物に該当するものは、原則、受入れはできません。ただし、事前協議のうえ発泡スチロール等処理可能な品目は、施設の処理能力等の範囲内で、1市2町又業種にかかわらず、共通、公平に受け入れを行っています。

議会だよりは与謝野町ホームページに掲載しています。
上記の議会懇談会に関する内容はそちらでもご覧いただけます。

宮津与謝消防組合議会

報告者／山崎政史

令和3年10月19日
 定例会に先立ち全員協
 議会が開催され、「消防
 指令センター共同運用の
 進捗状況」についての説
 明が行われた。定例会で
 は、宮津与謝消防組合消
 防職員の特種勤務手当に
 関する条例の一部改正に
 ついて・宮津与謝消防組
 合手数料条例の一部改正
 について。加悦谷分署及
 び橋北分署の高規格救急
 車を2台更新するなどの
 歳入総額8億8,071
 万6千円、歳出総額8億
 4,462万2千円、歳入歳出
 差引額3,608万2千円と

与謝野町宮津市中学校組合

報告者／今井浩介

令和3年9月16日
 令和3年第3回定例会
 議案第6号・7号 組合
 公平委員会委員の選任に
 ついて、全員承認。
 議案第8号 組合教育委
 員会委員の任命について、
 全員承認。
 議案第9号 組合監査委
 員条例の一部改正につい
 て、地方自治法の一部改
 正に伴い改正、全員承認。
 議案第10号 組合特別職
 の職員の報酬及び費用弁
 償条例の一部改正につい
 て、学校医等が非常勤の
 特別職となることから改
 正、全員承認。

京都地方税機構議会

報告者／多田正成

地方税等滞納徴収状況
 令和3年11月16日
 京都府宮津総合庁舎に
 て、中丹地方事務所管内、
 丹後地方事務所管内の地
 方税、国民健康保険税の
 滞納額の税機構業務、令
 和3年度上半期執行状況
 等の報告
 〈中丹地方事務所管内〉
 各市町の滞納移管額12
 億7,000万円、収納
 額4億2,300万円、
 収納率33・3%、滞納処
 分停止1億4,400万
 円。
 〈丹後地方事務所管内〉
 各市町の滞納移管額7
 億6,800万円、収納
 額1億9,400万円、
 収納率25・2%、滞納処
 分停止1億5千万円。そ
 の内与謝野町の状況は、
 滞納移管額1億5,400
 万円、収納額2,900
 万円、収納率18・8%。

Q 産業施策の費用対効果は

A 基幹産業に新しい息吹がある



山崎良磨 議員

問 8年間の山添町政の産業振興施策での雇用促進、費用対効果はあったのか。

町長 産業振興会議からの提言書等を受け止める形で行ってきたが、基幹産業に新しい息吹が芽生えてきているのを感じている。

問 答弁から町長自身の気持ちが伝わらない、自身のマニフェストとしてやったのではないか。

町長 自身がやりたいと思えば、マニフェストとした。

問 シルクは民間に引き継がれ、この前までクラウドファンディングが行われていたが、満額の資金は集めることができなかった。世間的にも需要がないのでは。



現在の浪江谷

町長 取り組んでいる従事者からはニーズがあると聞いている。

問 行政は平等であるべき、事業を展開されている浪江谷の貸賃を定め回収するべきだ。

町長 今後の課題とする。

委託業者の資格は

問 移住定住施策の一部業務を受けた事業者が宅建業協会に加盟していないが、問題はないのか。

観光課長 現地の内覧には不動産業者も同行するので問題ない。

問 この業者の必要性を感じない。不動産業者に任せるべき。

町長 年度末までにしっかりと検証したい。

Q 府より控える指導があったと聞くが

A 配布を続けるのは町の判断

問 新型コロナウイルス抗原検査キット（以下、検査キット）の配布を控えるように京都府より指導があったと聞くが。

町長 令和3年8月7日より検査キットの配布を実施した。配布を続けるかは町の判断に任せるが、責任を求められる場合があるかもしれないという指摘があった。

問 この検査キットは未承認の検査キットだが、使用に対しては法律に違反していない。道義的責任についてはどうお考えか。

町長 検査結果の信憑性への懸念は想定していた。検査結果は100%ではない旨の口頭説明を加え配布を始めた。検査キット配布事業の終了について町

のホームページに掲載し丁寧な説明に努めた。道義的な責任は果たしたと考える。

問 検査キットの配布は府の指導で中止したのか。その対応には問題がなかったか。

町長 緊急事態宣言が発令され事業を休止した。お盆、夏休みの対応を終えたこと、また報道により住民の間で不安が広がったので事業終了した。府の指導で中止したのではない。配布を終了した対応は問題なく適切であった。



高岡伸明 議員



配布されたキット



渡邊貫治 議員

問 ハザードマップでは「大雨によって野田川および三田川、男山川が氾濫した場合に想定される浸水地域や避難施設などの防災施設を掲載してしま」とあるが、なぜ私たちが問題にしている雨水出水の記載がないのか。

町長 ハザードマップは京都府が公表しているものであり、水防法における洪水、雨水出水及び、高潮による浸水想定区域制度は、各水害に対応し、避難場所や避難路の設定等の措置を講じること、住民等の円滑かつ迅速な避難路確保を図ることを目的としているものであるが、水防法改正前の作成であるため、現在のハザードマップには反映されていない。



実際の金堀池

町長 合併後には京都府が管理する弓木川砂防堰堤から堆積していた土砂や流木が土石流となって流下したことによる災害は令和元年8月25日以後ないよって雨水が排水施設で排除できないことによる雨水出水は発生していないと考える。部分的な改修を行うことであるが、状況に変化が生じない限り、当該地域の排水路を再整備する計画はもっていない。

路が溢れたら、移住定住施策が進まないと思うが。

Q 見えるまちづくりを問う

A 再整備する計画は無い

問 使用用途は決まっているのか、その方法は。

町長 総合計画に掲げる7つの分野と地域づくり分野などの事業指定型4分野を寄付される方が用途を指定して寄付いただくことになっている。企業版ふるさと納税の用途については「関係構築『ゆるやかな交流』プロジェクト」などの第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略に基づくと5つのプロジェクトを活用。令和3年度は旧加悦鉄道車両の保存・活用に関する事業に対してガバメントクラウドファンディングを実施。

町長 受入実績と活用状況は、令和2年度の受入額は4,729万円であり、本制度開始から過去最



下村隆夫 議員

Q ふるさと納税について

A 7つの分野については当確年度に配分する



ふるさと納税

高額となっている。活用状況は各分野の一般財源配分のほか、ふるさと応援基金に57万5000円を積み立てた。令和3年度の受入額は11月末現在で個人版が2,047万5千円であり、企業版が1,010万円、ガバメントクラウドファンディングが31万1,100円となっている。

町長 ふるさと納税に要した費用は。

町長 個人版ふるさと納税では、返礼品の調達や受付サイト運営に係る委託料など寄付金額の概ね2分の1を必要経費と見込んでいる。

Q 産業振興は仕事として成り立つのか

A 仕事として確立するよう努力している状況



今井浩介 議員

問 経済全体でまちは良くなったか。

町長 市町村内総生産、市町村税課税状況は上昇している。平成30年が最新の数値。

問 毎年の検証ができていない中で、どのように考えて事業を実行しているのか。

町長 最新の数字は把握できない。アンケート調査等で現状が把握できる。

問 ブランド戦略事業のホップ栽培は、単体では仕事にならないと答弁があった。農業振興、新規農業者増に繋がるのか。

町長 仕事として定着できるかはビール醸造所の建設が命運を分ける。

問 一人が持つホップ栽培面積は変わらないので醸造所が建設されても収益



仕事になるように

は変わらないのでは。

町長 供給体制も強化され、比例して収益も上昇する。流通金額も高くなる可能性がある。

問 議会や町民にしっかり示しながら事業を遂行してほしい。まちのブランドとは。

町長 他と比較して差別化を図ること。ビールができれば購入する店があり、飲める店がある。ビールに合う町内産品を活用した料理が各飲食店で同じメニューや料理がある。そして人が訪れる。これがブランドだと思う。

町長 賛同する。現状を踏まえ改善していきたい。

Q ダイオキシンの原因は他にあるのでは

A 指摘と同様の見解部分もある



永島洋視 議員

問 清掃工場ダイオキシン原因調査試運転の中間報告では、メタン設備再利用水でガス冷却をしているが、濃度原因があるのではと記載。ダイオキシン類検出日は試運転の5倍の数値で差がありすぎる。他に原因があるのでは。

町長 指摘内容と同様の見解となる部分もある。

問 施設運営は基準を満たさないと正勧告が出る。既に1回出され2回目を出すと、委託料が減額される。改善出来ない場合、2回目を勧告し委託料を減額するべき。

町長 今後勧告が必要となることもある。

問 ゴミ焼却とメタンガス化併設施設の導入は少ない。技術が確立出来ていないのでは。組合事務局長も否定出来ない組合議会で発言している。

町長 可能性としての発言である。一日も早く事態を收拾したい。

問 焼却炉業者選定は、2社応募があり、技術点70点、価格点30点で審査している。価格で4億円も差があるのに、同じ30点配点は理解出来ない。設計募集要項どおりで計算すると、別の会社となる。どの自治体でも、提案価格に応じて配点を差をつけている。

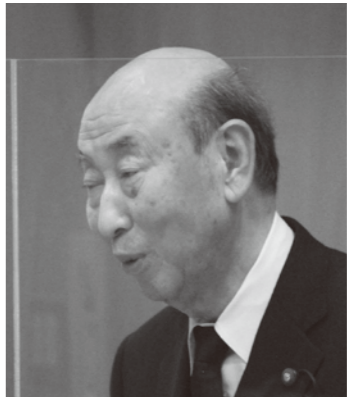
副町長 組合はルールに従って判定している。疑問点は組合に尋ね、回答し



現在のクリーンセンター

Q 加悦鉄道2号機関車と観光交流拡大

A 文化財として保存し、観光・地域活性化に活用



杉上忠義 議員

問 国の重要文化財である2号機関車と明治の木造客車2車両を加悦鉄道資料館横に移設展示するための工事が始まっている。保存・展示するための設備費用の一部にと日本冶金工業㈱から「企業版ふるさと納税寄付」として町は1,000万円の寄付を受けた。日本冶金工業㈱の木村会長から「町民の皆さんと観光客の交流の機会が拡大し、町が一層発展することを願う」と挨拶があったと報じられている。町は期待に応えるべきだが。

町長 貴重な近代化遺産である2号機関車を含む3車両を次世代に引き継いでいく。「NPO法人加悦鉄道保存会」の協力を得ながら一般公開することにより、地域住民・観光客・全国の鉄道



収納施設現在建設中

ファンとの交流機会が生まれ、町内観光施設等との相乗効果も図っていききたい。
問 地域創生の光と影を問う
町長 府北部5市2町は果たして「創生」したのかと、丹念に取材した新聞の特集記事に注目した。2012年からの「地域創生」。町の総合戦略は、次の取り組みに入る前に「科学的知見による検証」が必要。
町長 ひと・しごと・まち創生総合戦略により各種事業を展開している。外部有識者の知見も活用して効果検証を行っている。

Q 消防団活動の啓発・支援策は

A 消防団の方と共に推進していく



山崎政史 議員

問 団員数の減少と団員構成の変化が消防団の運営に影響を及ぼし、適正な規模の活力ある消防団員の確保をいかに図るかが各市町村の課題とされているが、当町の現状・団員数確保の取組は。
町長 本町消防団の団員の定数は、383人であるが合併以降条約定数を確保できたことはない状況。また、団員の被雇用者率も86・3%となっており、被雇用者である団員の割合が大多数を占めている。団員数の確保については現団員からの勧誘のほか各区長にも紹介いただくようお願いし取組んでいる。
問 条約定数に達していない状況で住民の安心・安全を守るのか。
町長 社会環境の変化を踏まえたうえで団員数についても議論しなければなら



出初式の様子

ない。団員数が減少していても適切な消防団活動に従事していただいていると考える。
問 団員の8割以上が被雇用者のなかで事業所などへの対応は。
町長 過去には民間事業者への協力をお願いしていた。引き続き町内事業者への啓発・協力依頼など強化していく。
問 消防団活動がさらに活発化する取組をしていただきたい。
町長 団員確保の取組・支援内容など消防団の方と共に推進していきたい。

Q 町の農業施策は

A 自然循環農業を進めている



浪江秀明 議員

問 米の買い取り価格の減少は把握されているのか。

町長 コロナウイルス感染症拡大により需給バランスが大幅に崩れたことにより全国的に大幅に下落していると理解している。一般的な米価指標となるJAの買い取り価格は率にして21・5%と大幅な下落となっている。

問 町独自の取組は何があるのか。
町長 近年農業に限らず環境への取組が求められ農林水産省は「みどりの食料システム戦略」を策定し、国としても環境負荷の少ない農業、有機農業を推進していくことを明確にした。当町ではこの方向性に非常に合致した自然循環農業を軸とした農業を引き続き推進していきたいと考えている。



野菜の駅の様子

問 野菜全般の販路は考えているのか。
町長 野菜についてはJA京都が組織する「施設園芸部会」、「加工契約野菜部会」、「与謝野産直の会」の取組「京のふるさと産品協会」によるブランド京野菜の取組などにより販路開拓につながるものと考えている。また、地産地消の観点からは野菜の駅などの直売施設に対する伴走支援を考えている。

Q コロナワクチン確保と情報提供を

A 国へもワクチン安定供給・配分を要望



和田裕之 議員

問 新たな変異ウイルス「オミクロン株」が南アフリカで確認されて、日本を含め全世界で確認。感染拡大が懸念第6波が現実味を帯びた。3回目ワクチン接種の予定は。
町長 現時点では2回目接種後、8カ月を経過する対象者から順次接種できるように準備をする。
問 1、2回目接種はファイザー製ワクチン利用者が多く、ワクチンの配分上、3回目はモデルナ接種をと、いわゆる「交互接種」を国が呼びかけている。「抗体量」が上がるかとされる一方、副作用も懸念する。選択できるのは良いが、仮にファイザー希望者が増えれば配分の関係上、当然足らなくなる、混乱が生じるのも事実である。副反応も



ワクチンの確保を

含めて、住民に対し、正しい情報を速やかに提供すべきでは。
町長 速やかに情報提供をし、接種の参考にして頂く。ワクチン供給、配分について町村会から、知事に安定的な供給を国に働きかけて頂きたいと要望をした。
問 接種対象年齢を更に引き下げ、5歳から11歳児童（小児）への接種を国へ葉事申請がされている。ご家庭ではより慎重に議論、判断できるように情報提供すべき。
町長 ご家庭で議論を深め判断できるように情報提供していく。



宮崎有平 議員

問 本町の人口減少の実態と今後の見通しは。

町長 1975年から減少に転じ、令和2年度は、2万92人となり、2045年には約1万2千人になるとされている。人口減少により、空き家の増加、地域活動等における人手不足、産業の後継者不足、地域経済活動の縮小といったことが想定される中、人口減少に対応したまちづくりが課題である。

問 少子化対策や移住のための施策等、現在行っている施策は何か。

町長 妊娠・出産支援や子育てしやすい環境づくり施策、健康寿命を延ばす施策、近年はふるさと教育によってUターンしていただくための意識醸成の取組や、地元事業所への就職支援、起

業支援等も行ってきた。

問 人口減少による地域経済への影響をどのように捉えているのか。

町長 地域経済への影響は、地域における個人消費や事業者による経済活動の縮小、税収の減収などが予想できるが、当町への誘客によって消費増加や外貨を獲得することで、地域内で資源が循環する仕組みを構築する。

問 若者層の定着に向けた施策は。

町長 本町の資源を活かし、あらゆる施策を行うことで、住んでみたい、住み続けたいと思うまちづくりを推進していく。



対策は急務

Q 人口減少対策の取り組みは急務だ

A 多くの対策をしているが歯止めがかからない



河邊新太郎 議員

問 子どもの安全を確保するため、今一度、通学路の再点検を強化し、危険な道路状況や交差点など、注意を要する箇所のピックアップを行い、情報交換などによる共有が必要ではないか。

教育長 交通安全プログラムに基づき設置している与謝野町子供の移動経路／通学路等の安全推進会議で通学路の安全対策を行っている。

問 通学路の防犯対策など子どもを犯罪から守るための取組について今後どのように考えているか。

教育長 現在行っている登下校時の安全確保の取組としては、小学校児童は集団あるいは複数で登下校を行うとともに、不審者対策として地域見守り隊等のボランティアの協力ほか警察官0



ゾーン30

Bによるスクールガードリーダー、教職員の立ち番や付き添い、パトロールを行っている。

路側帯・転落防止柵を問う

問 児童生徒が登下校している道において、路側帯の白線が経年劣化で消えている状況。また道路沿いに水路もあり危険である。その対応策を問う。

町長 様々な要望の内容を精査し、優先順位によって財政の許す範囲で実施する。

Q 通学路の安全・防犯対策の取り組み

A 安全推進会議で通学路の安全対策を行う

Q 野田川社会教育施設の存続を

A デザイン会議での議論を参考ににする



安達種雄 議員

問 昨年「野田川社会教育施設の在り方検討会」が開催され、町の諮問事項について7回の会議を重ねた結果、「白紙撤回」との委員全員の賛同の結果となった。答申内容は「住民とのコミュニケーションの不十分」等が掲げられていた。今日までに町長は議会において「委員会の答申は尊重する」との答弁であった。今月6日から10日迄の柔道場、体育館の利用者は140名で小、中学生から80歳代まで自らの健康づくりとスポーツ技術の向上に向け頑張っている。また、図書館分室も小中学生の学ぶ機会を考えると加悦谷統合でなく旧町毎に必要と思う。商工会の合理化案において加悦・岩滝支所の縮小はやむを得ないが、本所だけは野田川



野田川体育館

にするべきとの声が会員に多い。野田川社会教育施設のすぐそばを岩屋川が流れている。ハザードマップには施設周辺は洪水災害時軒下50cmから3mとある。今後異常気象での豪雨災害が懸念される場所で、0歳児からの保育施設は適当な場所か、この際新たな場所を検討する委員会の設置を求める。

町長 町公共施設等総合管理計画の方針に基づき、更地ではなく老朽化施設の廃止や撤去を前提とし、デザイン会議での議論を踏まえながら、今後判断していく。

Q 産業振興は全体の底上げが最重要

A 様々な角度から町農業の付加価値を上げる



家城 功 議員

問 当町の農業の位置づけはどのようなものか。

町長 町の主産業であり稲作は農業の中心である。

問 当町の農業のPRは。

町長 当町の農業の特徴である自然循環型農業も含め、色々な場面でPR活動を行っている。

問 丹後のお米は大変おいしいが全国的な知名度はない。京都府との連携を強く図り、PRすべき。

町長 付加価値を上げるにはPRは重要であり必要である。海の京都の取組にも農業を取り入れた形で進めていきたい。

問 行政の封筒や企業の名刺などを活用したPRも可能ではないか。

町長 多様な手法も含め今後の検討課題とする。

問 自然循環型農業の代名詞「豆っこ肥料」の現状はどう把握しているか。

町長 コロナの影響もあり希望の約8割の供給。

問 学校給食の残菜を活用するなど新たな取組も含め強化を図るべき。

町長 課題は多様にあるが、要望に対応できる供給を目指し、提案事項も含め進めていきたい。

問 産業振興は全体の底上げが最重要。

町長 同様の見解である。様々な形を取り入れ、町の農業振興を進めていく。

問 次の選挙に出馬するのか。

町長 次の選挙に出るのか。状況をよく見極めしやるべき時期に決断する。



当町産品の豆っこ米

まちの宝
子どもページ

つばきこども園の紹介

～ともだちいっぱい うれしいな!!～

令和3年12月13日に桑飼保育園とかやこども園が統合し「つばきこども園」が開園しました。ピカピカの新しい園舎には園児161名の元気な声が響き渡っています。環境の変化に戸惑う子どもさんもいましたが、少しずつ慣れ、新しい友達と名前を呼びあったり、一緒に遊んだり、時には喧嘩もしながら過ごしています。

年長児は、新しい園舎内を探検し、「ここが危ない」「どうしたらいいかな?」と話し合い、小さいクラスの友達にも伝えて、新しいルールが決まってきました。「やりたい」ことにたくさん出会い、様々な経験を積み重ねられるような教育・保育活動を行います。たくさん子ども達と保護者や地域の方々、職員が笑顔いっぱいこのこども園を目指します。



笑顔いっぱいこのつばきこども園です。



友達と話し合う時間を大切にしています。



友達と一緒に体作りも楽しんでいます。



子ども達の笑顔に癒されます♡

山田小学校の紹介

～自分の考えを表現し、学び合う山田っ子～

山田小学校では、今年度の学校教育目標を「～夢をもち 自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成～」と掲げ、様々な教育活動を行っています。

今年度から導入された一人一台のタブレットを活用して、自分の考えを書きこんで友達に伝えたり、マット運動をする友達を撮影し、「もっと足をのばした方がきれい大きな技になるよ。」「視線はここだよ。」と、改善点を話し合ったりする等、自己表現の場が大きく広がりました。

保護者や地域の方にも、外部講師として児童の学習に協力していただいています。今後も、感染対策を講じ、今できることを工夫しながら取り組んでいきます。



地域の方にお世話になって、与謝野町の産業について学んでいます。

教科学習の場だけでなく、委員会活動やトークタイム等、異年齢での伝え合いもとても楽しみにしています。

